

90市町村

第2次調査 昭和49年9月～10月 100件
第3次調査 昭和49年11月～12月 30件

オ、報告書

「福島県の彫刻」文化財基礎調査5として刊行。

③ 歴史民俗資料調査

ア、目的

県内各地に所在する考古、歴史、民俗の資料を調査し、その保存活用の資料とするとともに、国立歴史民俗博物館（仮称）の基礎資料とした。

イ、調査対象（文化庁が選択）

歴史部門 167点 県文化センター歴史資料館蔵福島藩領村村絵図など

考古部門 200点 若松城天守閣郷土博物館蔵会津大塚山古墳出土品など

民俗部門 360点 南郷開発総合センター古民具展示室蔵灯火用具など

ウ、調査期間

昭和49年10月から昭和50年2月までの間に適宜実施

エ、調査員

誉田 宏、田中正能、五十嵐竹雄、藤田定興、小滝利意、永山倉造、竹島国基、岩崎敏夫、和田文夫、村川友彦、佐藤耕四郎

オ、調査の成果品

文化庁が定めた様式のカードに調査結果を記入し、調査物件の写真撮影を行い、カードに添付した。なお、文化庁に提出したカードの写し及び写真フィルムは県文化センター歴史資料館に保管してある。

④ 史跡指定調査

ア、目的

歴史上重要な遺跡の史跡指定を積極的に推進するための調査を行った。

イ、調査の対象

関和久遺跡（西白河郡泉崎村）

ウ、調査指導

伊東信雄、岡田茂弘

エ、調査期間

昭和49年10月21日～11月20日

オ、調査結果

礎石建物跡3棟、掘立建物跡8棟、大溝2条、堅穴住居跡1棟、井戸1、計15の遺構を発見した。出土遺物は瓦、土師器、須恵器、鉄製品等多数がある。

カ、報告書

「関和久遺跡Ⅲ」史跡指定調査概報として刊行。

⑤ 民俗音楽調査

ア、目的

県内各地に遺存している民俗芸能に伴うはやしと歌のうちから選択、録音採取して保存するとともに採譜して、広く活用資する。

イ、調査対象

神楽、田植踊り、獅子舞、念仏踊りなどはやしと歌

ウ、調査内容

県内各市町村に依頼して、しつ皆所在調査を行い、779芸能（うち廃絶など263）の現地公開の日時、場所などを確認した。これに基づいて、学術的価値の高いもの及び保存上緊急を要するもの40を選び、県合唱連盟に委託して録音採取して整理するとともに採譜して記録保存した。

エ、調査期間

年間を通じて実施

⑥ 文化財防災調査

ア、県指定文化財（美術工芸品）防災緊急調査

(ア) 目的

防災計画策定の基礎資料を得るため、収納、保管の状況、環境、管理状況について調査した。

(イ) 調査対象

調査対象名	所在地	所有者(管理者)
聖護院道興短冊銅製釣燈籠	棚倉町大字八槻	八槻淳良
仁王磐若経板木妙法蓮華経板木	石川町大室	薬王寺
銅製鰐口	石川町下泉	石都都古和気神社
木造阿弥陀如来坐像	古殿町田口	西光寺
木造地藏菩薩半跏像	小野町湯沢	地藏堂
国魂文書	いわき市平菅波	山名隆具
鏡太刀無銘一文脈字	" 平一丁目	渡辺登
相馬昌胤請文	" 平田城跡	野崎理夫
飯野文書	" 平高月	飯野盛夫
木造釈迦如来坐像	" 平四波	忠教寺
木造薬師如来及両脇侍像 木造天部立像	" 平上高久	浄日寺
銅製御正体	" 平豊間	諏訪神社
木造観音菩薩半跏像 木造扁額	" 小名浜林城	禅長寺
寺脇貝塚出土品	" 磐城体育センター	いわき市
木造十一面観音立像	" 常磐上湯長谷	長谷寺
紺紙金字法華経	" 勿来町関田	松山寺
絹本著色塙保己一像	" 勿来町窪田	塙保次
木造釈迦如来坐像阿難尊者 迦葉尊者立像	" 勿来町山田	楞嚴寺
木造金剛夜叉明王立像	" 勿来町酒井	蔵皇神社
陶棺	" 勿来町関田	(勿来美術館)
銅製鰐口	" 田人町黒田	満照寺
金銅製華鬘 木造妙見尊立像	" 四倉町館下	妙見堂
刺繍阿弥陀三尊幅 種子懸幡	" 四倉町薬王寺	薬王寺
木造阿弥陀如来坐像	広野町折木	成徳寺
木造虚空蔵菩薩坐像	川内村上川内	長福寺
紙本著色両界種子曼荼羅	浪江町北幾世橋	大聖寺